

令和6年4月15日(月)

明日の森のこども園に向けて、持ち物や服装を確認しました。「虫に刺されんように、襟付きの長袖着てくる!」、「晴れと雨のマークが付いとったから、長靴の方がいいかな?」と、昨年度の森のこども園を思い出しながら、みんなで意見を出しました。「家に帰ったら、すぐ準備する。」、「明日は、どんなことするんかな〜?」と、明日の活動に期待を膨らませています。

ひまわり組

令和6年4月15日(月)

こいのぼりの製作をしました。こいのぼりの形に切った画用紙の中に鱗を描き、子ども達はパステルで鱗の中の色を塗りました。「オレンジにしようかな?」「次はピンクかな?」と、一つ一つの鱗に違う色を塗る友達もいれば、一つの鱗にいろいろな色を塗ってカラフルにする友達もいました。明日は、パステルで塗った鱗の上から、絵の具を塗るはじき絵を行い、こいのぼりを色付けしていきます。

こすもす組

令和6年4月15日(月)

園庭の桜の木を観察しました。先週は、満開を迎えた桜の花びらが舞う様子を見ましたが、今日は「お花ないね～」「枯れちゃったね～」と少し残念そうに話す子ども達でした。しかし「緑の葉っぱになってる！」「団子の緑～」と色が変わったことに気付いた友達や、友達の話を聞いてその変化を感じ取る友達もいました。また、部屋では桜を描いていた友達が、「あっ！」と思い出したように、「今日は緑もあったね」と呟きながら葉っぱを描き足す姿に感動しました。

ゆり組

令和6年4月15日(月)

集いの中で“うずらちゃんのかくれんぼ”を読みました。  
「もういいかい」「まあだだよ」「もういいかい」「もういいよ」と  
担任が読むたびに、みんなも同じフレーズを繰り返しました。  
うずらちゃんとひよこちゃんがどこに隠れているのか、  
体を前のめりにしながら探し、「ここにおる」とみんなで喜び  
合いました。

たんぽぽ組

令和6年4月15日(月)

「帽子被るよ。」の声掛けに、外へ出ることが分かるのか、嬉しそうに体を揺らします。真新しい帽子を被ると、さらに気持ちが高まり、ウッドデッキで遊びました。こいのぼりが空を元気よく泳ぐ姿や園庭を眺めたり、担任と追いかけてっこしたり、春風を感じながら過ごし、中には窓に映る自分の姿をじーっと見つめ、体を動かし同じ動きをする自分を見て、喜ぶ友達もいました。

もも組

令和6年4月15日(月)

遊ぶことが好きな友達、気持ち良くなると眠くなってしまう友達、食べることが大好きな友達と、一人一人の好きなことがわかるようになってきました。子ども同士も互いに相手の存在が気になるようで、声がる方をじっと見たり、顔を近付けたりと興味をもっています。また、好きなことをしている時には顔をくしゃっとさせて笑顔を見せてくれます。

つくし組